

深江丸は、あなたの夢と共に出勤いたします。

連絡先： 海事科学部附属練習船 深江丸 船長 矢野吉治 ・ 機関長 三輪 誠 ・ 通信長 若林伸和
Tel & Fax: 078 - 431 - 6336 captano@maritime.kobe-u.ac.jp ・ miwa@maritime.kobe-u.ac.jp ・ waka@kobe-u.ac.jp

実船実験や観測、各種新型機器の開発や実船での評価など、
研修、訓練等、さまざまな目的で 深江丸 を利用できます。



練習船深江丸 449トン
最大搭載人員 64名(乗組員含む)

深江丸研究利用例

海洋観測(海水採取・成分分析)

…水環境中の多環芳香族炭化水素の動態調査

データ解析専用の研究室、実験室を完備しています。また、精密
計算機器の専用電源として、UPS電源装置を装備しています。

操船実験(操縦・性能) … 潮流や風圧による横流れ量の計測実験

船内LANによる各種情報の収集転送システムにより、気象・海象、
機関の運転状況を含め約500項目のデータをリアルタイムに表示で

き、収録したデータの再生も可能です。また、項目を指定してエクセルファイルにも出力できます。

ディーゼル機関(性能実験・サンプル採取) … 排気ガス処理装置の性能に関する実験

A重油を使用した主機関は無負荷～1,100kWまでの出力調整が可能です。また、煙突の途中
には排気ガスのサンプル採取用フランジが取り付けられており、連続的なサンプリングも可能です。

認知工学の分野に関わる研究 … 閉鎖空間における退避行動に関する行動分析

人間の行動を分析する目的で、退船訓練時等における行動を分析する研究が行われています。

船は独立した1つの社会を形成しており、限られた空間での人間の行動研究などに利用可能です。

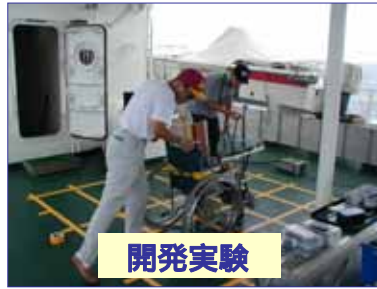
各種企業研修、海・船体験イベント

大阪湾や明石海峡を巡る航海や船上で実施する各種の訓練・体験等を通じて、チームワークや危機
管理などを体得する企業研修などを実施しています。

潮風を肌身で感じ、実際に船を操縦する、“海・船体験イベント”として、団体での利用も可能です。



海洋観測



開発実験



運航解析



企業研修



船上訓練



行動分析

深江丸使用料

半日の利用(5時間程度) … ￥100,000 + 諸雑費
1日の利用(8時間程度) … ￥150,000 + 諸雑費
1泊2日の利用 … ￥300,000 + 諸雑費

左記金額は航行費用のみ(燃料代・乗組員
費用等含む)。

このほか必要に応じて食費、傷害保険代等
及び共同研究の場合は研究経費が必要です。

船舶を活用した、船ならではの共同開発・共同研究も受け付けます。

本務最優先ですので、利用にあたり事前打ち合わせと申し込みが必要です。